



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,805	52.4	251	189.6	215	191.3	134	174.6
28年3月期第1四半期	3,153	△29.5	△280	—	△235	—	△180	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 45百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △199百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.84	—
28年3月期第1四半期	△11.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	34,125	26,729	78.3	1,758.94
28年3月期	35,862	26,836	74.8	1,765.98

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 26,729百万円 28年3月期 26,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,900	4.6	230	56.8	300	60.6	190	83.8	12.50
通期	22,400	4.8	1,100	12.3	1,220	20.6	810	24.8	53.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	15,721,000 株	28年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	524,773 株	28年3月期	524,773 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	15,196,227 株	28年3月期1Q	15,196,249 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境においては改善傾向にあるものの、英国のEU離脱問題等の海外経済の不確実性の高まりによる金融市場の混乱など、景気下押しリスクがあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもとで、当社グループは新たに策定を行った中期経営計画「Innovation 68」の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新規コア技術開発、新営業分野に関する製品開発、グローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットの導入等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

その結果、主に検査計測機器事業の販売の拡大により、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,805百万円で、前年同四半期比1,652百万円（52.4%）の大幅な増収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進に加え、販売の拡大による粗利益額の改善等により、営業利益251百万円（前年同四半期は営業損失280百万円）、経常利益215百万円（前年同四半期は経常損失235百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益134百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失180百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	1,832	1,814	△1.0%	△55	△59	－%
検査計測機器	292	1,800	515.7%	△266	208	－%
産業機器	514	515	0.2%	27	68	146.1%
エクステリア	228	217	△4.6%	△12	△3	－%
機械・工具	286	457	60.0%	29	16	△43.7%
報告セグメント計	3,153	4,805	52.4%	△277	231	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△3	20	－%
合計	3,153	4,805	52.4%	△280	251	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、ロボット等の新設備による製造の合理化に向けた活動を進めるとともに、生産性向上に向けた工場レイアウトの変更等に取り組んでまいりました。また、医療関連分野向け製品の営業体制の拡充を図ってまいりました。

しかしながら、首都圏等における家具需要は全体として堅調に推移したものの当第1四半期連結累計期間においては大口案件がなかったこと等により、売上高は1,814百万円で前第1四半期連結累計期間比18百万円、1.0%の減収となりました。また、利益面では、積極的なコストダウンに努めたものの、前連結会計年度に行った設備投資にかかる減価償却費の増加の影響等により、セグメント損失は59百万円（前年同四半期はセグメント損失55百万円）となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国市場向け液晶検査装置および高機能フィルム向け検査装置ならびに燃料電池部材等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、半導体関連・電子デバイス関連向け等の新製品の開発を進めてまいりました。

その結果、主に国内および台湾顧客向け大口物件にかかる検収が集中したことにより、売上高は1,800百万円で前第1四半期連結累計期間比1,507百万円、515.7%の大幅な増収となりました。また、利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の増加により、セグメント利益は208百万円（前年同四半期はセグメント損失266百万円）となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制の拡充、海外市場への積極的な営業活動および医療関係分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前第1四半期連結累計期間とほぼ同額の515百万円となり、セグメント利益は68百万円で、前第1四半期連結累計期間比40百万円、146.1%の増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた広告宣伝活動に注力するとともに、物件受注体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は217百万円で前第1四半期連結累計期間比10百万円、4.6%の減収となりました。一方、利益面では、積極的な経費削減活動等により、セグメント損失は3百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）と、損失幅を縮小することができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。その結果、機械にかかる大口物件の販売があったことにより売上高は457百万円で、前第1四半期連結累計期間比171百万円、60.0%の増収となりました。一方、利益面では、機械等の販売価格の低下の影響等により、セグメント利益は16百万円で、前第1四半期連結累計期間比13百万円、43.7%の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は34,125百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,737百万円減少いたしました。純資産合計は26,729百万円となり、前連結会計年度末と比較して106百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は78.3%と前連結会計年度末と比較し、3.5ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が793百万円増加した一方、期末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだこととともない受取手形及び売掛金が2,163百万円減少したこと等により、流動資産合計が1,514百万円減少し、22,471百万円となりました。固定資産合計は、株式相場の低迷等を受け投資有価証券が254百万円減少したこと、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金250百万円が解約により減少したこと等により、222百万円減少し、11,653百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、主に支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,133百万円減少したこと等により、負債合計は1,630百万円減少し、7,395百万円となりました。

純資産の部については、主に当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加の一方、剰余金の配当の支払いにともない利益剰余金が減少したことにより、利益剰余金は17百万円減少しました。また、株式相場等の低迷にともない、その他有価証券評価差額金が74百万円減少したこと等により、純資産合計は106百万円減少し、26,729百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点で、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,396,876	9,190,616
受取手形及び売掛金	8,582,311	6,418,947
有価証券	625,956	775,956
商品及び製品	588,135	635,250
仕掛品	4,210,252	4,264,908
原材料及び貯蔵品	889,188	714,773
その他	696,922	471,263
貸倒引当金	△3,781	△349
流動資産合計	23,985,861	22,471,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,183,882	2,286,942
機械装置及び運搬具（純額）	552,251	542,006
土地	4,284,948	4,297,994
その他（純額）	542,718	699,211
有形固定資産合計	7,563,800	7,826,155
無形固定資産	313,109	308,236
投資その他の資産		
投資有価証券	3,185,818	2,931,455
その他	819,476	593,654
貸倒引当金	△5,831	△5,831
投資その他の資産合計	3,999,464	3,519,278
固定資産合計	11,876,375	11,653,670
資産合計	35,862,237	34,125,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,895,861	1,375,366
電子記録債務	2,160,582	1,547,194
未払法人税等	249,574	16,799
前受金	1,806,268	1,731,467
賞与引当金	392,819	149,510
役員賞与引当金	15,250	-
その他	1,515,432	1,607,084
流動負債合計	8,035,789	6,427,423
固定負債		
長期借入金	67,483	52,482
役員退職慰労引当金	189,720	8,880
退職給付に係る負債	561,998	559,296
その他	171,057	347,714
固定負債合計	990,258	968,373
負債合計	9,026,047	7,395,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,508,925	22,491,328
自己株式	△272,451	△272,451
株主資本合計	26,607,792	26,590,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,100	183,903
為替換算調整勘定	64,780	44,672
退職給付に係る調整累計額	△94,484	△89,530
その他の包括利益累計額合計	228,396	139,046
純資産合計	26,836,189	26,729,241
負債純資産合計	35,862,237	34,125,037

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
売上高	3,153,669	4,805,829
売上原価	2,678,023	3,726,820
売上総利益	475,646	1,079,009
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	187,277	178,931
賞与引当金繰入額	34,069	40,099
退職給付費用	16,373	13,011
貸倒引当金繰入額	△177	△3,432
役員退職慰労引当金繰入額	3,660	360
その他	514,748	598,860
販売費及び一般管理費合計	755,951	827,830
営業利益又は営業損失（△）	△280,305	251,178
営業外収益		
受取利息	8,215	7,875
受取配当金	14,874	15,452
為替差益	19,836	-
その他	2,609	13,928
営業外収益合計	45,536	37,257
営業外費用		
支払利息	596	641
固定資産除売却損	162	68
為替差損	-	72,411
その他	343	14
営業外費用合計	1,101	73,135
経常利益又は経常損失（△）	△235,870	215,300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△235,870	215,300
法人税、住民税及び事業税	18,418	19,210
法人税等調整額	△74,224	61,725
法人税等合計	△55,806	80,935
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△180,064	134,364
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△180,064	134,364

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△180,064	134,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,545	△74,196
為替換算調整勘定	2,616	△20,108
退職給付に係る調整額	1,555	4,953
その他の包括利益合計	△19,373	△89,350
四半期包括利益	△199,437	45,014
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△199,437	45,014
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,832,343	292,355	514,597	228,074	286,297	3,153,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,697	1,440	7,761	3,335	143,694	164,928
計	1,841,040	293,796	522,358	231,410	429,991	3,318,597
セグメント利益又は損失(△)	△55,615	△266,732	27,926	△12,532	29,850	△277,103

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△277,103
セグメント間取引消去	△3,201
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△280,305

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,814,300	1,800,102	515,880	217,546	457,999	4,805,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,582	715	5,912	3,578	69,861	90,649
計	1,824,883	1,800,817	521,792	221,124	527,860	4,896,479
セグメント利益又は損失(△)	△59,664	208,417	68,730	△3,238	16,820	231,065

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	231,065
セグメント間取引消去	20,113
四半期連結損益計算書の営業利益	251,178

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。